

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和7年2月6日 No.10 文責 関口

桜の剪定作業が行われました！

2月1日(土)、毎年恒例になっている花咲かおやじの会のみなさんを中心に桜の木の剪定作業が行われました。保護者の皆様、そして子供たちも多数協力してくれました。本当にありがとうございました。

桑村小にとって、まさに桜は宝です。毎年、この学校を桜一色に染め、年度の終わりと新たな門出を演出してくれています。そんな桑村小の魅力ある風景を守るために多くの方々のご尽力があることを改めて知り、感謝の念に堪えません。

では、なぜ、剪定作業が必要なのでしょう。それは、桜がてんぐ巣病にかかっているからです。てんぐ巣病とは、カビの一種が原因で発生する伝染病で、病気にかかった枝についた葉の裏面に形成された病原菌の胞子が、空気中に飛んで感染していきます。感染すると枝が異常に発生して、花が咲かなくなります。放置しておくと感染した枝はやがて衰弱し、枯死してしまいます。今回、改めて桜の木を見てみると、確かに多くの箇所、てんぐ巣病特有の枝がありました。

地球温暖化の影響で、気候変動が起き、日本も四季というより、寒暖差の激しい夏冬の二季になりつつあるように感じる今日この頃です。それでも、今年も桜はしっかりとつぼみを枝につけて、成長しつつあります。令和7年度に向け、素敵な花をいっぱい咲かせてくれることを期待したいです。



令和6年度 第3回学校応援団会議から

1月15日に、学校応援団会議が行われました。今回の会議では、学校評価の結果を受け、応援団の方々に様々なご意見をいただきました。

- ・学校が楽しいと答える子が多いことに関して…。学校は学びの場であるので、楽しいだけでは困るが、子供たちが学校に行きたいと思えるのは良いことだと思う。
- ・家庭で読書する子供が少ないという実態に関して…。学童では結構本を集中して読んでいる様子が見られる。本を読む場所は、どこでもいい。時間の使い方は、読書だけではない。スポーツで時間を使う子もいる。それぞれ自分なりの使い方ではないか。
- ・チームで子供たちを見ていくという学校経営の方向性に関して…。先生方の意識改革が必要ではないか。子供目線で考えると、担任がわかりにくくなるのではないか。子供が選べるのはいいことだと思う。

ご意見については、現在行われている次年度の教育課程編成づくりに生かしていきたいと考えています。次回は2月14日に行われるので、さらに次年度の学校経営方針や地域との連携づくりの具体について意見交換できればと思っています。桑村小は、子供を中心とする地域の学校であるという点を大事にしながら、学校運営を進めていきます。